

## 診療情報を利用した臨床研究について

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院腫瘍内科では、以下の臨床研究を実施しております。この案内をお読みにになり、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分（家族）の情報を使ってほしくない」とお思いになられましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

情報の使用についてご了承いただけない場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合など、研究データからあなたの情報を削除出来ない場合もございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

### ➤ 対象となる方

2017年4月1日から2021年7月31日までの期間で佐世保共済病院消化器内科・内科・腫瘍内科に入院中に運動リハビリテーションを受けた20歳以上の進行がん患者

### ➤ 研究課題名

「がんリハビリテーションに対する摂食・栄養状態の影響に関する研究」

### ➤ 研究責任者

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 腫瘍内科 医員 今嶋 堯志

### ➤ 研究目的

進行がん患者では、病状の進行あるいは治療による有害事象によって、身体機能や栄養状態が低下する傾向にあります。このため、がん治療中あるいは緩和治療施行中のいずれにおいても運動療法と栄養療法を併行して行うことが国内外のガイドラインで推奨されています。しかしながら、運動療法と栄養療法の併用の有効性については、十分なエビデンスが存在しないのが現状です。乳癌や前立腺癌といった肥満と予後不良との関連が指摘されているがん種では、カロリー制限とリハビリテーションとの併用が有効であることを示した報告が存在します。しかしながら、進行がん患者で問題となる栄養摂取不良を対象とした報告は存在しません。

本試験では、進行がん患者を対象に、栄養摂取量やリハビリテーションの効果の相関について解析し、その有効性を示すことを目的としています。

➤ **利用する診療情報**

年齢、性別、主病名、手術歴、化学療法歴、ECOG PS、身長、体重、BMI、リハビリテーション開始日、リハビリテーション終了日、化学療法開始日、死亡日、リンパ球数、アルブミン値、C 反応性蛋白値、リハビリテーション開始日の食事摂取カロリー

➤ **研究期間**

研究期間 倫理審査委員会承認日から 2022 年 3 月 31 日まで（予定）  
調査対象期間 2017 年 4 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日まで

➤ **個人情報の取扱**

お名前、住所などの個人を特定できる情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別出来ないように番号等に置き換えて研究します。また学会や学術雑誌などで公表する際にも、個人が特定できないような形で使用します。本研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後は、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

➤ **単独／共同研究**

佐世保共済病院単独研究

➤ **診療情報の院外提供**

本研究では佐世保共済病院院外への情報提供はありません。

➤ **資料の閲覧**

本研究の対象者のうち希望される方は、研究方法の詳細に関する資料を閲覧することが出来ます。ただし、個人情報、知的財産権の保護などに支障がない範囲に限られます。

➤ **相談窓口**

国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院 腫瘍内科 今嶋 堯志  
電話番号：0956-22-5136（代表）